

令和6年度淡路市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は淡路島の中央部から北部に位置し、総耕地面積 3,220 ㌦と淡路島全体の 34% を占めている。気候は、比較的温暖な瀬戸内海気候に恵まれている。

また、地形では、急傾斜地が多い北部と比較的平地の多い南部に分けられることができ、各地域で地域性を生かした多様な農業生産が行われている。

主食用米面積については、総耕地面積の割合が約 61.0%で、転換作物では、東部を中心に温暖な気候条件を利用したカーネーション・ストック・きんせんかなどの花き栽培が盛んに行われている。

また、中山間地域という条件から、全域で繁殖和牛の飼育が盛んに行われ、牧草などの飼料作物の作付も盛んにおこなわれている。

この他、たまねぎ、レタス等の露地野菜や、トマト、ふき等の施設野菜、さらには、温州みかんを中心に果樹栽培など立地条件を生かした農業が営まれている。

しかし、農業従事者の高齢化及び減少にともない、担い手に集積されない農地で一部遊休化したものが近年増加傾向にあり、ほ場整備等により基盤整備と担い手の育成が大きな課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域では温暖な気候を生かし、野菜や花き、果樹などの様々な作物が栽培されている。特に玉ねぎについては、ブランド化や季節限定商品の販売などによる販路拡大を行い、農業者の所得向上を図っている。また、関西圏に近い立地を生かし、玉ねぎを含む野菜、果樹を中心に来島者向けの観光農園での販売、市内観光施設内の直売所や近郊都市圏への出荷が盛んに行われている。今後は、需要のある玉ねぎを主とする高収益作物を関係機関と連携して、担い手中心に規模拡大を図っていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当地域は農業用ため池が多くあり、それを利用した水田農業が盛んに行われている。特に、基幹作に水稻又は WCS 用稲、二毛作に玉ねぎの輪作体系が確立されており、担い手として位置づけられている農業者に関しては、この傾向が顕著である。また、畜産を基幹産業とする当地域では、中山間地域を中心に牧草などの飼料作物の作付も盛んである。産地として、WCS 用稲や飼料作物などの戦略作物と玉ねぎの輪作体系を推進していき、水田のさらなる有効利用を図ることとする。また、当地域においては、ブロックローテーションは高齢化や個人農家が多いなど、機械・施設への投資コストや労働力において不利であり取組が困難と考えられるため、まず、大規模な経営体である営農組合へ農地の集積、団地化を行うことにより体制を整えていく。また、水稻作に活用される見込みがない農地については作付体系を水田台帳等を活用し定期的に点検し、畑作化支援を含め検討していく。

畑地化支援においては、水稻作に活用される見込みがない農地等、地域の実情を鑑み、畑作物に取り組む農業者に対して、畑作物の需要に応じた生産を推進し、水田の有効活用

を図ることとする。

4 作物ごとの取組方針等

市内の経営耕地面積 1,800ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、生産者の収益向上に向けた作物生産の維持・拡大を図ることとする。

（１）主食用米

安全で売れる米作りの徹底によって米の生産地としての地位を確保する。生産目安の情報提供、また前年の需要動向や集出荷業者等の意向を勘案しつつ、需要に応じた米生産の推進を行う。また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

（２）備蓄米

現在、取り組んでいないが、需要動向に応じて推進を図る。

（３）非主食用米

現在、取り組んでいないが、需要動向に応じて推進を図る。

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を転換作物の中心作物に位置付ける。また、飼料用米の生産拡大にあたっては、国からの産地交付金を活用し多収品種の導入推進を図り、地域の水田面積増の推進を図る。

イ 米粉用米

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

ウ 新市場開拓用米

現在、取り組んでいないが、需要動向に応じて推進を図る。

エ WCS 用稲

主食用米の需要減が見込まれる中、WCS 用稲の生産に取り組み自給率の向上を図る。

オ 加工用米

産地交付金を活用しつつ JA との結びつきを強化し、生産拡大を図る。

（４）麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については、地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持するとともに、畜産の生産につながる飼料作物の生産に取り組み自給率の向上を図る。

（５）そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

（６）地力増進作物

次年度に水稻と転換作物のブロックローテーションの取組、高収益作物栽培や

有機農業等の環境を配慮した取組のための土づくりのために地力増進作物の作付を推進する。

(7) 高収益作物

淡路島ブランドである玉葱を中心に、風土や気候に合った作物を推進加算作物に設定し、担い手等に農地の集積を図り、栽培面積の拡大を図る。

(8) 畑地化

畑作物に取り組む農業者に対して、畑作物の需要に応じた生産を促進し、水田の有効活用を図るとともに、生産作物の維持・拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	818.8	0.0	818.3	0.0	818.3	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料用米	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0
米粉用米	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
WCS用稲	29.6	0.0	29.6	0.0	29.6	0.0
加工用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
麦	3.1	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0
大豆	0.8	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0
飼料作物	129.8	58.0	129.8	58.0	129.8	58.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
なたね	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
地力増進作物	3.3	2.1	3.3	2.1	3.3	2.1
高収益作物	188.6	87.9	188.6	87.9	188.6	87.9
・野菜	147.8	86.8	147.8	86.8	147.8	86.8
・花き・花木	24.3	1.1	24.3	1.1	24.3	1.1
・果樹	16.3	0.0	16.3	0.0	16.3	0.0
・その他の高収益作物	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1.4	たまねぎ(基幹・二毛作)・ トマト・レタス・ブロッコ リー・食用なばな・カー ネーション・ストック・な たね(花)・キク・キンセン カ	推進作物加算	作付拡大	(5年度) 119.6	(8年度) 120.9
2.5	野菜・花き・果樹・その他 作物・二毛作たまねぎ	基本助成 (一般作物)(二毛作たま ねぎ、)	作付拡大	(5年度) 61.3	(8年度) 62.2
3.6	野菜・花き・果樹・その他 作物・二毛作たまねぎ	担い手による 基本助成	作付拡大	(5年度) 70.8	(8年度) 71.6
7	麦・大豆・飼料作物・飼料 用米・米粉用米・WCS用稲・ 加工用米	二毛作助成(二毛作)	作付拡大	(5年度) 54.0	(8年度) 54.8
8.9	飼料作物・飼料用米・WCS用 稲	耕畜連携助成(わら利 用・水田放牧・資源循 環)(基幹・耕畜連携・ 二毛作)	作付拡大	(5年度) 33.6	(8年度) 34.1

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	推進作物加算	1	6,000	たまねぎ(基幹)・トマト・レタス・ブロッコリー・食用なばな・カーネーション・ストック・なたね(花)・キク・キンセンカ	本地域の推進する対象作物の作付面積に応じて支援します。
2	基本助成(一般作物)	1	8,000	野菜、花き、果樹、その他作物	基幹作で野菜、花き、果樹、その他作物の作付面積に応じて支援します。※担い手を除く。
3	担い手による基本助成(2を除く)	1	14,000	野菜、花き、果樹、その他作物	基幹作で担い手(認定農業者 認定新規就農者 集落営農 農業法人)が取組む野菜、花き、果樹、その他作物の作付面積に応じて支援します。
4	推進作物加算(二毛作たまねぎ)	2	6,000	たまねぎ(二毛作)	本地域の推進する対象作物(たまねぎ(二毛作))の作付面積に応じて支援します。
5	基本助成(二毛作たまねぎ)	2	8,000	たまねぎ(二毛作)	二毛作で野菜(たまねぎ)の作付面積に応じて支援します。※担い手を除く。
6	担い手による基本助成(二毛作たまねぎ)	2	14,000	たまねぎ(二毛作)	二毛作で担い手(認定農業者 認定新規就農者 集落営農 農業法人)が作付する野菜(たまねぎ)の作付面積に応じて支援します。
7	二毛作助成(二毛作)	2	6,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米	当年産において、「主食用米と戦略作物」又は「戦略作物同士」の組み合わせによる二毛作を行う場合に、二毛作として作付する戦略作物の作付面積に応じて支援します。
8	耕畜連携助成 (わら利用、水田放牧、資源循環)(耕畜連携)	3	5,000	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	飼料作物等を作付する又は作付した水田で耕畜連携(わら利用、水田放牧、資源循環)の取組を行う場合に、その取組面積に応じて支援します。
9	耕畜連携助成 (わら利用、水田放牧、資源循環)(耕畜連携・二毛作)	4	5,000	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	飼料作物等を作付する又は作付した水田で耕畜連携(わら利用、水田放牧、資源循環)の取組を行う場合に、その取組面積に応じて支援します。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

カテゴリー	区分	作物名	作物コード	整理番号
農	大豆	小豆	1.0.0	7
		小豆（種子用）	1.0.1	7
		大豆大粒	1.0.2	7
		二重大豆	1.0.4	7
		はたけ豆	1.0.6	7
		青大豆	1.0.9	7
	雑穀	白大豆（一割）	1.2.2	7
		白大豆（契約）	1.2.3	7
		白大豆（種子用）	1.1.2	7
		黒大豆	1.1.0	7
		黒大豆（種子用）	1.1.1	7
		青豆とりとうもろこし	1.2.4	7
飼	飼料	ソルガモ（青刈りソルガモ、スーダングラス）	1.2.5	7
		わら専用飼	1.1.3	7
		その他有り（ナタシト、青刈り象、青刈り大豆、しこび、青刈りひき）	1.2.6	7
		本牧草用穀（オースチードグラス、		
		羊モシ、トルフエスク、メードエスク、		
		パタグラス、アルフアルフ、	1.2.7	7
	飼料	タンタキープルグラス、アカクローバー、		
		シロクローバー、ペレニアカラグラス、		
		リードナードグラス、飼料用シバ		
		イタリアンライグラス	1.2.8	7
		その他有り（牧草用）		
		カードビナグラス、ローズグラス、	1.2.9	7
作物	穀物	バダグラス、パンゴラグラス、		
		ミズグラス、オオクサキビ		
		飼料用穀類（飼料用小麦、飼料用ゼー）	1.3.0	7
		飼料用穀類（干草用小麦）	1.3.1	7
		青刈りハトムギ（穀物用）	1.3.2	7
		子実用と麦	1.2.1	7
	穀物	その他飼料作物	1.3.3	7
		その他飼料作物（産産用産用対象）	1.3.4	7
		飼料用青刈り稲	1.5.7	7
		穀類兼飼料作物（専用稲）		
		クヌシカ、クヌシカ、リースカ、	1.3.5	7
		はまきり、ホシヤギバ、タナナ、		
その他	穀類兼飼料作物（その他）	高良飼り（高良兼麦類）、麥あがば	1.3.6	7
		飼料用麦	1.1.6	7
		本牧用麦	1.1.5	7
		本牧用麦	1.1.6	7
		そば	1.1.7	
		なたね	1.1.8	
	穀類兼飼料作物（その他）	きぬきり	2.0.0	2
		トマト	2.0.1	1
		なす	2.0.2	2
		大根なす	2.0.5	2
		ピーマン	2.0.3	2
		ししとう	2.0.8	2
その他	野菜	トウガラシ	2.0.3	2
		ズッキーニ	2.0.9	2
		かぼち	2.0.4	2
		ししとう	2.0.2	2
		いり豆	2.0.6	2
		ピーマン	2.0.6	2
	野菜	ピーマン	2.0.7	2
		キャベツ	2.0.8	2
		キャベツ（漬作物）	2.0.9	
		はくさい	2.4.8	2
		はくさい（漬作物）	2.1.0	
		はくさい	2.1.1	2
その他	はくさい	2.1.0	2	
	はくさい	2.1.1	2	
	はくさい	2.6.2	2	
	はくさい	2.6.8	2	

ナ ビ コ リ	証	作 物 等 名	作 物 コ ー ド	監 理 番 号
野 の 物 作 業	分	ねぎ	2.12	2 3
		たまねぎ	2.03	2 3
		青ねぎ	2.05	2 3
		西実ゆかりねぎ	2.06	2 3
		たまねぎ	2.04	1 2 3
		たまねぎ (葉作物作)	2.13	4 5 6
		らっきょう	2.01	2 3
		レタス	1.14	1 2 3
		ほうれん草 (葉作物作)	2.04	2 3
		だいこん	2.06	2 3
		だいこん (葉作物作)	2.15	
		青梗だいこん	2.04	2 3
		にんじん	1.16	2 3
		にんじん (葉作)	2.07	
		さといも	2.17	2 3
		さといも	2.18	2 3
		きりしも(つやつや)	2.19	2 3
		えだまめ(白大豆)	2.20	2 3
		えだまめ(黒大豆)	2.05	2 3
		きざしえんげん	2.21	2 3
		寒天類ようちんじ	2.22	2 3
		寒天類けいしょ	2.23	2 3
		寒天類かんしよ	2.24	2 3
		豆腐 (あまいも)	2.01	2 3
		アスパラガス	2.25	2 3
		きのこ類	2.26	2 3
		プロコリ	2.27	1 2 3
		ニラ	2.28	2 3
		ねぎのいも	2.29	2 3
		寒天類そらめ	2.30	2 3
		一寸そら菜	2.37	2 3
		しゅんぎく	2.31	2 3
		きざしえんどう	2.32	2 3
		うすいえんどう	2.38	2 3
		めく	2.33	2 3
		ごぼう	2.34	2 3
きざわり	2.35	2 3		
しろりり	2.36	2 3		
べっしんりり	2.00	2 3		
とうがん	2.08	2 3		
セリ	2.39	2 3		
セリ	2.03	1 2 3		
その他つけかけ類	2.40	2 3		
みぞれ	2.41	2 3		
パセリ	2.42	2 3		
みき	2.43	2 3		
そし	2.44	2 3		
なな菜	2.45	2 3		
2.46	2.46	2 3		
ネギウネ	2.47	2 3		
ダシゲンサイ	2.49	2 3		
その他中国野菜	2.50	2 3		
その他野菜	2.51	2 3		
加工食品用ばいしょ	2.52	2 3		
かつらウネ	2.53	2 3		
しんじ	2.57	2 3		
ごつな	2.58	2 3		
みずな	2.59	2 3		
ヤーコン	2.60	2 3		
わかび	2.61	2 3		
セリ	2.62	2 3		
その他通年作物	2.63	2 3		
ネーロウヤ	2.70	2 3		
パプリカ	2.71	2 3		
ハーブ	2.90	2 3		

ナ ビ コ リ	区 分	作 物 等 名	作 物 コード	登 録 番 号
野 菜		ニンニク	272	2 3
		ニンニク（特産）	273	2 3
		みょうろ	274	2 3
		ゴーヤ	275	2 3
		よもぎ	276	2 3
		わらび	277	2 3
		ごみ	278	2 3
		無節野菜	279	2 3
		豆苗なし	4001	2 3
		西洋なし	4002	2 3
	果	もも	4003	2 3
		うめ	4004	2 3
		びわ	4005	2 3
		かき	4006	2 3
		くり	4007	2 3
		いちじく	4008	2 3
		サウアフルーツ	4009	2 3
		ゆず	4100	2 3
		ずだち	4101	2 3
の	ブルーベリー	4103	2 3	
	うんしゆのみかん	4104	2 3	
	りんご	4105	2 3	
	ぶどう	4106	2 3	
	おくらう	4107	2 3	
	その他果樹	4108	2 3	
	花	はき	5000	2 3
		番松	5001	2 3
		花木	5002	2 3
		観音草	5004	2 3
芝		5005	2 3	
フローラ		5006	2 3	
カーネーション		5006	1 2 3	
ストック		5007	1 2 3	
なつた（花）		5008	1 2 3	
ゆく		5009	1 2 3	
作 物	カンセンカ	5100	1 2 3	
	地力増進剤	6000		
	とうもろこし（地力）	6000		
	ソルガム（地力）	6001		
	クローバー（アカ、シロ）	6002		
	れんげ（地力）	6003		
	ヘアリーベッチ（地力）	6004		
	その他地力増進作物	6005		
	ハスス	7000		
	ひまわり（養蠶）	7001		
養 蠶 成 果 作 物	なつた（養蠶）	7002		
	マリーゴールド	7003		
	れんげ（養蠶）	7004		
	そば（養蠶）	7005		
	ペロロ豆	7006		
	ペルーリョブ	7008		
	ヘアリーベッチ（養蠶）	7009		
その他養蠶形成作物	7007			

この他、必要な作物コードがありましたら、ご連絡ください。

カ タ リ	区 分	作 物 名	作 物 コード	数 理 番 号		
そ の 他 の 作 物	そ	ハトムギ	9 0 0			
		その他雑穀類	9 0 1			
		小麦	9 0 2	2 3		
		小麦	9 0 5			
		蕎麦	9 0 6			
		その他豆類	9 0 3			
		大粒小麦	9 0 4			
		雑用作物	8 2 5			
		まんなんけ	8 2 6			
		トウモロコシ	8 2 7			
		トウモロコシ	8 2 8			
		カワカヅメ	8 4 1			
		その他食用きのこ	8 2 8			
		薯蓣作物	8 2 9			
		みつばちげ	9 1 1	2 3		
		みつばち	9 1 2			
		その他一般作物	8 4 8			
		トウモロコシ	8 4 9			
		他	8 5 0			
		ごま	8 5 2	2 3		
		こうずけ	9 1 4			
		切花用品種	9 1 5			
		その他非食用作物	8 2 0			
		山椒	8 2 1	2 3		
		山椒	8 2 4			
		ユウカリ	8 2 2			
		たらの芽	8 2 3			
		たばこ	8 3 7			
		こんにゃく	8 3 8			
		その他特作物類	8 3 9			
		水 稲	そ の 他	苧	9 3 4	
				苧	9 3 5	
稲穂	9 1 6					
試験研究米	9 1 7					
新穀要米（輸出用米）	1 5 4					
新穀要米（種子）	1 5 6					
パイオ資料用米	1 5 9					
新穀要米（その他）	1 6 1					
新穀要米（特殊用米）	1 6 4					
加工用要米/稲	1 5 8					
選種稲	1 6 0					
新穀稲	1 6 1					
その他減収稲	1 6 2					
その他減収稲（2）	1 6 3					
主 食 用 水 稲	そ の 他	主食用要米	1 5 0			
		主食用要米	1 5 1			
		種子生産用米（種子用米）	1 5 2			
		種米	1 5 3			

(注意) 上記以外のコードは使用しないで下さい。

カ タ ゴ リ	区 分	作 物 等 名	作 付 率	施設 率
そ の 他	カ ワ ン	うんしゅうみかん	99.1	-
		4晩かん	99.2	-
		ぶどう	99.3	-
		その他かんきつ類	99.4	-
		りんご	99.5	-
	作 物	ぶどう	99.6	-
		おとうとう	99.7	-
		キウイフルーツ	99.8	-
		梨	99.8	-
		桃	99.9	-
そ の 他 の 外	付 対	かんこくみかん(産直用)	97.8	-
		うんしゅうみかん(産直用)	97.9	-
	対	その他かんきつ類(産直用)	98.0	-
		りんご(産直用)	98.1	-
	象	ぶどう(産直用)	98.2	-
		おとうとう(産直用)	98.3	-
	物	キウイフルーツ(産直用)	98.4	-
		梨(産直用)	98.5	-
	象	桃(産直用)	98.7	-
		水	飼料作物	95.4
田	そば		94.5	-
	預	大豆	94.6	-
託		冬小麦以外の夏麦	95.6	-
	コ	その他一般作物	95.7	-
ド		飼畜	95.9	-
	の	たばこ	95.9	-
の		安全管理	96.1	-
	の	管理施設	96.2	-
の		土地改良施設(実施済施行中)	96.4	-
	の	堤防施設(水堀以外)	96.6	-
の		堤防費	96.7	-
	の	堤防費	96.7	-
の		特例	96.8	-
	の	農地保有合理化法人等管理	96.9	-
の		特定農地買付	97.0	-
	の	レクリエーション施設	97.3	-
の		宇宙遊覧等	97.6	-
	の	多目的施設等	97.7	-
の		自己保全管理(一筆全体)	95.1	-
	の	自己保全管理(分組別)	96.0	-
の		開設水田(一筆全体)	94.7	-
	の	開設水田(分組別)	95.0	-
の		土地改良推進実行	96.3	-
	の	緑地	97.1	-
の		農舎	97.2	-
	の	農産物生産用施設	97.3	-
の		施設型農用地施設等	97.4	-
	の	養魚水田	97.5	-